



今年の夏休みは・・・

校長 手代木 英明

今年の夏は天候不順で、農作物への影響が心配されています。人間も生き物なので、太陽に当たらないと体内時計がおかしくなり、イライラしたりボーっとしたりします。そんな時は、家族みんなで、元気に「おはよう」と言って体を起こし、心の太陽を輝かせましょう。

ところで、夏休みの計画は立ちましたか？私は、祖父母の住む会津の田舎に行くのが定番でした。小4からは、一人で急行「ばんだい」に乗りました。日程の決定、時刻表を読んで指定券を取るなど小学生でもできます。当時のミニ周遊券を利用して、小旅行もしました。その時のドキドキ感は、今でも覚えていますし、人格形成に役立ったと思っています。ぜひ、夏の計画を親子で立て、子供の意見を聞いてあげましょう。そして、それを「旅行記」にまとめると、よい思い出として残ります。また、「自由研究」にも期待しています。今年も「校長賞」を選定します。ぜひ、チャレンジさせてください。

Special Saturday 7月6日（土）国際交流会・ハンドボール体験・社明

7月第1土曜日は、毎年「JICA 東京研修生との国際交流会」と「社会環境を明るくしよう渋谷区民のつどい」ですが、今年は、2020 オリンピック・パラリンピック・リアル観戦事業「ハンドボール体験」を行いました。この「特別な土曜日 Special Saturday」のレポートをします。

国際交流会のお客様は、例年30名程度でしたが、今年は50名（33か国）でした。オープニング・セレモニーでは、研修生の日本語による自己紹介、Simon says「サイモンさんが言いました。」の指示にだけ従うゲームをしました。日本文化の紹介では、3年生が「Rock you エイサー！！」を踊りました。お客様からは「素晴らしい。あの曲を教えてほしい。」などと大反響でした。各教室での交流会には、4～6年生が参加しました。毎年レベルアップしてきて、子供たちが自分の言葉で一生涯懸命に日本のことを説明していました。

西原スポーツセンターで行われたハンドボール体験は、2校時から1～3年生が参加しました。応援フラッグにメッセージを書いたり、宮崎大輔選手のスーパープレイを見たり、國學院大學全學応援團の指導を受けて応援練習をしたりしました。

そして、幡ヶ谷社会教育館で行われた「社会環境を明るくしよう渋谷区民のつどい」の音楽会では、4年生が発表しました。呼びかけ、合唱、合奏が素晴らしく、大きな拍手をいただきました。曲名は「一緒にいこう」（GreeeeN 作詞・作曲）。ALT のジョブ・ワイズ先生に教えていただいた Take me out to the Ball Game の発音は、バッチリでした。将来、アメリカでメジャーリーグ観戦をした時に、アメリカ人と一緒に歌えるレベルでした。ハードでしたが有意義な日となりました。



オープニング・セレモニー



浴衣で茶道の紹介



宮崎選手はすごい！



西原に元気を届けた発表
図工作品も展示されました。

